

研究課題名 国立病院機構臨床情報データベース（NHO Clinical Data Archive；NCDA）を用いた感染症サーベイランスに関する研究

1. 研究の対象

電子カルテデータを含む臨床情報を国立病院機構診療情報集積基盤（National Hospital Organization Clinical Data Archives; NCDA）あるいは、診療データバンク（Medical Information Analysis Databank; MIA）にて収集される国立病院機構病院においてデータが可能になった時点より前向きに利用可能なすべての個人情報が削除されたデータ。

2. 研究目的・方法

<目的> 今般の COVID-19 によるパンデミックの流行状況を把握するのに、日本政府は医療機関からの届出という手法を用いたために、院内感染対策と患者の診療によって疲弊していた医療機関の負荷を更に増大させた。一方、欧米の先進工業国はすでに稼働していた電子カルテデータベースによって患者の発生情報を収集することができた。流行状況及び患者の重症化のリスク因子や予後等は全患者の情報を収集する必要などなく、標本調査にて十分な情報が得られる。実際に、今回のパンデミックにおいても国立病院機構の運営する NCDA からのデータによって多くの情報が得られることが示されている。本研究は、NCDA および MIA から個人情報を削除したデータを利用し、感染対策に必要な情報を抽出して、疫学状況の変化や臨床症状、重症度とそのリスク因子、予後および医療負荷を評価するためのサーベイランスの実証を行うことを目的とする。

<方法> 国立病院機構本部診療情報分析部において、NCDA およびあるいは MIA から、対象となる疾患（今般は急性肺炎、急性呼吸器感染症、インフルエンザ、COVID-19）の感染症対策に必要な情報を抽出し、個人情報をすべて削除したデータによって、その流行状況、重症度と医療機関への負荷、重症化リスクと治療、使用薬剤、抗ウイルス薬、検査結果について解析評価する。これらの変化を追跡する。

<期間> 2019 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

個人情報が削除された、NCDA、MIA からの抽出された情報

4. 外部への試料・情報の提供

研究班内部の承認された研究者以外への提供はない。

5. 研究組織

谷口 清州 国立病院機構三重病院臨床研究部
橋本悠生 国立病院機構 本部 診療情報分析部
井上紀彦 国立病院機構 本部 診療情報分析部
堀口裕正 国立病院機構本部 診療情報分析部
高橋琢理 国立感染症研究所感染症疫学センター
光嶋紳悟 国立感染症研究所実地疫学研究センター
田辺正樹 三重大学医学部附属病院検査部
高橋佳紀 三重大学医学部附属病院感染制御部
奥村貴史 北見工業大学工学部

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 国立病院機構三重病院管理課 糸井通文 〒514-0125 三重県津市大里窪田町 357 番地 電話：059-232-2531（代表）、研究責任者：国立病院機構三重病院 谷口清州